

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL <http://www.shimanto.or.jp>



(↑学生が作成したパンフレット。クリックで拡大)

■学生キャンプ2016「風景の声を聴く、語る。」

見上げるほど急峻な山々とそのすぐ下を縫うように流れる四万十川。与えられた自然条件の下で、人々は上手に土地を使い分け、川との絶妙な距離をとり、川を利用することで豊かな暮らしを続けてきた。そしてそれらが織りなす風景が四万十らしさを創り出し、また、その風景からは先人が積み重ねてきた知恵と工夫を知ることができる。

9月初旬。そんな風景の声を聴き、語るべく全国各地から大学生11名が集結した。土木、法律、地域づくりなど専門の異なる学生が各々の視点からアプローチし、議論を重ね、読み解いた景観についてシンポジウムで発表を行った。学生キャンプと呼ばれるこの事業は、四万十川流域の文化的景観の活用策として平成25年度から始まり、4年目を迎えた今年には四万十市口屋内（くちやない）を舞台に開催された。

学生キャンプ3泊4日のうち、3日間のフィールドワークには地域散策や漁業・林業についてのレクチャー、SUP体験やテナガエビ探しなどのメニューが組み込まれており、それらを通じて人と川との多様な関わりが理解できる内容となっていた。メニューのほとんどが地元の方々の協力によるもので、生きた情報が直接学生達に届けられた。

成果を表現するために学生達が作成した口屋内のパンフレットを見てみると、おすすめのアクティビティにだけに限らず、植生の位置から分かる四万十川の増水位や口屋内の土地利用についても示されており、3日間という短期間で無事課題が達成されたことが分かる。

学生キャンプ4年間の試みにより、四万十が景観を学ぶ良いフィールドになることが確認できた。

ところで、多大学多分野の学生が集まると個性も特技も現在備えている知識量も様々で、非常におもしろい議論と作業風景を見ることができた。地域散策の時に流れっぱなしになっている水を見て、谷水が無料で使えることに驚く学生がいたり、それに加えて川より水利がいいから田畑に谷水を使うことを理解する学生がいたり、彼らひとりひとりの疑問や知識が化学反応を起こすように議論が展開されていった。また、プロかと思うくらい写真が上手な学生や、魔法使いのようにソフトを使いこなす学生もいた。

おそらく今回出逢った個性豊かな学生達は今後も四万十になにかしらの愛着をもって来て、必要な時に必要な手助けをしてくれるのではないかと感じる。四万十は学生キャンプによって、全国に心強い多くの仲間をつくっていくことができそうだ。

イベント情報

「四万十きこり養成塾」受講生募集！チェーンソー手帳取得可能！

チェーンソーの扱い方、間伐の方法について基礎から丁寧に学べる講座です。修了生にはチェーンソー手帳を発行します。未経験の方、女性の方、どなたでも大歓迎ですのでお気軽にご参加ください。

【日にち】平成28年12月2日～4日 3日間

【場所】四万十源流センターせいらんの里とその周辺の山
高知県高岡郡津野町船戸 4724

【申込】申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送もしくはFAXをお願いします。電話での申込も可能です。書類が必要な方は郵送しますのでご連絡ください。詳細は右のチラシもしくはHPをご参照ください。

【お問い合わせ】

公益財団法人四万十川財団

〒786-0013 高知県高岡郡四万十町琴平町 474-1

TEL 0880-29-0200 / FAX 0880-29-0201



会員協力店の紹介



【長寿庵】

〒785-0505

高知県高岡郡津野町芳生野丙 1621-1

TEL 0889-62-3031

四万十川財団の会員証ご提示で、
グループ皆様にウエルカムドリンクサービス！

津野町四国カルストの麓、口目ヶ市集落にある民宿長寿庵さんは築250年を超す落ち着いた雰囲気のある古民家です。玄関を入ると囲炉裏が迎えてくれ、時間の流れが穏やかに過ぎていくのを感じます。四季折々の山の恵みを味わいながら暖かい囲炉裏ばたで、ゆったりと時を過ごしてみませんか。看板キャラクターの”かんとろう君”もお出迎えしてくれます。

※四万十川財団の会員についてはこちらをご参照ください。

<http://www.shimanto.or.jp/kihu/kikin.html>